

病院名	県立柿崎病院	対象年度	令和2年度	作成者	院長 太田求磨							
病院局理念		医療制度改革等、社会の変化を踏まえ、良質な医療サービスの提供と効率的な病院経営を行い、県民の安全と安心に寄与します										
病院理念		患者さんの立場に立った良質な医療を提供し、地域住民の健康維持・増進に貢献します										
中期目標		1;プライマリケア、軽症・中等症の救急医療、リハビリを提供し、地域に愛される病院を目指します。 2;診療の質を向上させ、医療安全、院内感染対策に努めます。 3;地域で安心して過ごせるよう、地域連携、在宅医療を推進し、地域包括ケアシステムの構築に貢献します。 4;健康づくりに役立つ、ヘルスポromoーション活動を展開します。 5;職員の笑顔・元気・やりがいを大切にします。										
今年度の目標		1;地域包括ケア病床の効率的運用、2;病床利用率75%以上、3;在院日数の短縮(20日以内)、4;病院・介護施設連携の推進、5;在宅医療部門の活性化、6;地域講演会、院内健康教室活動の継続、7;地域住民との交流と地域貢献、8;やりがいのある仕事と自己研鑽										
区分	戦略マップ	戦略目標	主な成果(重要成功要因)	業績評価指標	H31年目標値	H31実績(12末)	評価	R2年目標値	R3年目標値	具体的なアクションプラン	達成年月	取組み部門
財務の視点		医療収益の増加	医療収益性の確保	入院患者数	15,000人(利用率75%)	11,523人	○	15,000人(利用率75%)	15,000人	連携室を通じた患者紹介促進 診療報酬算定増収項目の取り組み 地域包括ケア、疾患別リハビリの充実 地域包括ケア病床の効率的運用 品目ベースでの積極的導入 経費削減、省エネ対策、診療材料等の廉価購入 地域包括ケア病床など効率的なベッドコントロール 入院患者の確保、維持 10:1算定継続のため注視 36協定遵守努力、事前命令励行、業務平準化		各部門 各部門 リハビリ 病棟 薬剤部 管理部 医局、病棟 医事 各部門
				外来患者数	30,000人(1日125人)	22,092人	△	30,000人(1日125人)	30,000人			
				入院患者一人1日単価	27,000円	26,485円	△	8,500円/4,500円	8,500円/4,500円			
				外来患者一人1日単価(内科、外科)	8,500円/4,500円	9,996円/3,583円	○	7,200円	7,200円			
				外来患者一人1日単価	7,200円	7,092円	△	13単位/人/日以上	13単位/人/日以上			
				リハビリ 提供件数	13単位/人/日以上	13.6単位/人/日	○	90%	90%			
				地域包括ケア病床利用率	90%	102.0%	○	85%以上	85%以上			
				経費削減	後発医薬品導入率	85%以上	92.2%	○	70%以上	70%以上		
					医療収支比率	70%以上	69.8%	○	100%以上	100%以上		
					経常収支比率	100%以上	70.3%(繰入前)	○	75%以上	75%以上		
				病床利用率の維持	病床利用率	75%以上	76.2%	○	20日以内	20日以内		
				平均在院日数の短縮	平均在院日数	20日以内	18.3日	○	対前年比の3%削減	対前年比の3%削減		
				超過勤務短縮	月間超過勤務時間	対前年比の3%削減	75.5%	○				
顧客の視点		患者満足度の向上	総合的 patient 満足度の向上	患者満足度調査における満足度、信頼度	80%以上	90%	○	80%以上	80%以上	アンケート調査の活用 病院内の療養環境整備、居心地よい雰囲気づくり職員接遇向上 外来待ち時間調査継続、待ち時間対策の継続 院内地域連携室→センター化を進める 連携室を通じた患者紹介促進 介護施設との情報交換・連携促進 連携室を通じた患者紹介促進 ボランティア募集(病院だより広報) 広報 地域講演会、健康教室等の開催 訪問回数枠の拡大 病院情報の発信	平成21年3月 平成20年度～	接遇委員会 接遇委員会 医事 地域連携 地域連携 地域連携 接遇委員会 医事 健康教室担当者 訪問看護師 管理部
				苦情件数	月2件以内	月0.7件	○	月2件以内	月2件以内			
				外来待ち時間の改善	最大外来待ち時間(新患・再来・予約)	各1時間以内	95分	△	各1時間以内			
				地域連携の推進	紹介率	15%	16.4%	○	15%			
					他病院からの紹介患者数	250件/年	325件	○	250件/年	250件/年		
				病診・病病連携、施設との連携	特養、老健からの紹介患者数	40件/年	53件	○	40件/年	40件/年		
					新患・患者数	280人/月	287人/月	○	280人/月	280人/月		
				開かれた病院づくり	ボランティア受け入れ	3人以上	11人、2団体	○	3人以上	3人以上		
				人間ドッグ事業の維持	受診者数の維持、内容の維持	25人/年	34人	○	25人/年	25人/年		
				病院認知度の高まり	健康講座の開催	150人	183人	○	150人	150人		
				在宅医療の推進	訪問診療・訪問看護等の展開	240人/300人170人	213人/219人/136人	○	240人/300人170人	240人/300人170人		
				情報発信	病院だより発行	3刊	2刊	○	3刊	3刊		
内部プロセスの視点		医療安全の向上	医療事故件数ゼロ	医療事故件数(レベル4以上)	0件	1件	×	0件	0件	医療安全推進委員会活動、学習会開催 院内感染対策委員会活動、学習会開催 毎月実績の検証と対策検討、勉強会 サマリ作成状況の点検、医療クラークの活用 医師確保活動 新大医局へ後援会と招聘要請 CPの作成と運用の促進 月1回以上の利用		医療安全委員会 院内感染対策委員会 診療報酬向上委員会 医事 院長、病院局 院長、病院局 地域連携バス委員会 医局
				ヒアリハット	30件/月以内	19.2件/月	○	30件/月以内	30件/月以内			
				院内感染対策推進	院内感染の防止	なし	なし	○	なし			
				診療録管理・医事機能	院内感染症の発症の有無と頻度(アウトブレイク)	レセプト返戻率	件数0.25%、点数1.50%	○	件数0.25%、点数1.50%	件数0.25%、点数1.50%		
					退院サマリ作成率	90%以上	100%	○	90%以上	90%以上		
				医師確保	医師充足	80%以上	127.1%	○	80%以上	80%以上		
					診療科の維持(地域ニーズへの対応)	外来診療科の維持(眼科、皮膚科、整形外科)	現状維持	○	現状維持	現状維持		
				医療の質の向上	クリニカルパスの利用	クリニカルパス使用症例の増加	月3例以上	月3例	○	月3例以上	月3例以上	
					新潟大学との連携(教育プログラム)	テレビ会議利用回数	年12回以上	16回	○	年12回以上	年12回以上	
学習と成長の視点		職員の知識・技術の向上	教育研修の充実	院内研修会開催回数	年12回以上	14回	○	年12回以上	年12回以上	すいすい学習会の開催 臨床研修費の病院枠執行計画 計画的な人材育成(経験年数が必要) 研修受講予定表の作成 人材育成型評価の実施(正規職員) BSCに対する自己取組・評価実施(非常勤職員)		教育研修委員会 各部門 医局 各部門 管理部 管理部
				認定資格者養成	専門医・指導医数	1人以上	2人	○	1人以上			
					その他の各種認定資格の取得数	各種認定資格の取得数、維持数	1人以上	2人	○	1人以上		
				職員のモチベーションの向上	職員満足度の向上(正規職員)	管理部との面談、自己目標と達成度評価	(○△×で)80%以上の達成感	93.5%	○	80%以上		
					職員満足度の向上(非常勤職員)	自己評価と管理部で状況把握	(○△×で)70%以上の達成感	88.9%	○	70%以上		